

第410号 (平成24年7月15日)

◎第452回例会 (平成24年7月15日 午後1時～)

場 所 : 岡山衛生会館 5F 中ホール

講 演

演 題 「婦人科術後患者のヘルスケア」

講 師 山形大学医学部産科婦人科学講座教授 倉智 博久先生

症例報告「再発を繰り返しながら、初回治療後8年を経過した卵巣癌症例」
岡山市立市民病院 小橋 勇二 先生

◎第453回例会予告

日 時 : 平成24年9月16日(日) 午後1時～

場 所 : 岡山衛生会館 5F 中ホール

演題・講師

「最新の不育症治療について」

富山大学医学部産科婦人科学教室教授 斎藤 滋 先生

◎保険だより

- 1) 婦人科細胞診検査で液状化検体可算85点が新設されました。しかし、初回の標本採取一検査の流れでは算定出来ません。診断不能例に対して、過去にバイアルで採取保存した検体を使って再検する場合に、細胞診150点に85点加算ができるものです。採取料は算定できません。
- 2) コルポスコープ下で組織検査をした場合には、コルポスコープ150点+子宮腔部組織採取料200点ではなく、内視鏡下生検法310点で診療報酬請求可能です。
- 3) 救急医療管理可算は重症妊娠悪阻でも算定可能です。
- 4) レセプトの画面審査で、日計表、縦覧、突合チェックが可能となりました。外来管理加算、膣洗、超音波検査などの算定日が明瞭であり、従来、診療実日数が2日以上あれば別日と判断していた検査や処置も査定対象になる可能性があります。

今年診療報酬改定の年です。しばらく日本産婦人科医会報の社会保険の欄をご覧ください。

◎妊産婦死亡例調査について

「妊産婦死亡例登録、調査」(妊産婦死亡とは妊娠の期間及び部位に関係なく、妊娠またはその管理に関連した、あるいはそれらによって悪化したすべての原因による妊娠中または分娩後42日以内における女性の死亡をいいます。)

死亡例発生の都度、速やかに山崎会長までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

◎おぎゃー献金について

プラスチック製の暖かみのある素敵な献金箱が出来ました。ご希望の方は当支部へお申し込み下さい。

かねてよりご協力願っております「おぎゃー献金」の入金には直接持参して下さるか、便利な中国銀行の振込用紙をご利用下さい。

(振込用紙、献金袋、受領証並びに感謝シールは当支部にございます)